

Effects of the temporal structure of sound markers on rhythm perception

蓮尾, 絵美
九州大学大学院芸術工学府中島研究室

<https://doi.org/10.15017/19760>

出版情報：九州大学, 2010, 博士（芸術工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：

目次

第1章	序論	1
1.1	はじめに	1
1.2	本研究の背景	1
1.2.1	時間知覚研究	1
1.2.2	リズム知覚研究	3
1.2.3	音の時間構造と時間知覚	5
1.3	本研究の目的	7
1.4	本論文の構成	11
第2章	単独の時間間隔の知覚	12
2.1	はじめに	12
2.2	目的	12
2.3	実験1：持続時間の影響	12
2.3.1	目的	12
2.3.2	実験方法	13
2.3.3	結果と考察	16
2.4	実験2：振幅の影響	18
2.4.1	目的	18
2.4.2	実験方法	18
2.4.3	結果と考察	20
2.5	実験3：音エネルギーの時間分布の影響	22
2.5.1	目的	22
2.5.2	実験方法	22
2.5.3	結果と考察	25
2.6	まとめ	29
第3章	隣接する時間間隔の知覚	30
3.1	はじめに	30
3.2	目的	31
3.3	実験4：隣り合う時間間隔の長さの比較	31
3.3.1	目的	31
3.3.2	実験方法	32
3.3.3	結果と考察	34
3.4	実験5：隣り合う時間間隔の主観的な長さの測定	37
3.4.1	目的	37

3.4.2	実験方法	37
3.4.3	結果と考察	41
3.5	まとめ	53
第4章	音の持続時間の知覚	54
4.1	はじめに	54
4.2	目的	55
4.3	実験6：空虚時間と充実時間の主観的な長さの測定1	55
4.3.1	目的	55
4.3.2	実験方法	56
4.3.3	結果と考察	59
4.4	実験7：空虚時間と充実時間の主観的な長さの測定2	65
4.4.1	目的	65
4.4.2	実験方法	65
4.4.3	結果と考察	67
4.5	まとめ	73
第5章	総合考察	74
5.1	はじめに	74
5.2	区切音の持続時間はどのように時間間隔の知覚の仕組みに影響したのか	75
5.3	本研究の結果と従来のリズム知覚研究の結果との関連付け	82
5.4	今後の展望	83
5.5	まとめ	84
第6章	結論	86
	文献	88
	謝辞	94